



令和7年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 経済産業大臣表彰

知財活用企業(特許)

古河電気工業株式会社

代表取締役社長 森平 英也

企業概要

<https://www.furukawa.co.jp/>

所在地：東京都千代田区大手町2丁目6番4号(常盤橋タワー)

設立：1896年

資本金：69,395百万円

従業員：4,335人

事業概要：情報通信やエネルギーなどのインフラ分野、自動車部品分野、エレクトロニクス分野などへ、多岐にわたる技術・製品・サービスを提供している

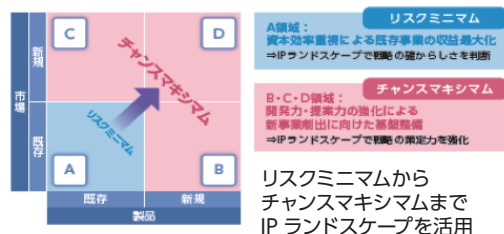


受賞のポイント

- ①前社長が「知財は戦略のど真ん中」をスローガンに知財経営を推進。現社長は10年に及ぶ知財部門経験があり、「知的資産で競争優位を築こう!」をスローガンに、先頭に立って知財経営を推進。経営陣・事業部門長と知財部が知財活動に対話する知財戦略会議を定期的開催。
- ②差別化技術の特許・ノウハウ等で保護し、ビジネスリスクを最小化する「リスクミニマム(事業安定化)」に加え、IPランドスケープにより新事業を探索する「チャンスマキシマム(事業機会拡大)」に取り組む。IPランドスケープは実施率をサステナビリティ指標とするなど、経営レベルで積極的に推進。
- ③例えば「インフラレーザ®」システムでは、通信事業で培ったレーザ技術を鉄塔や船、橋等の錆や塗膜除去に活用するための事業戦略をIPランドスケープで強化。IPランドスケープに基づいて自社の優位性確保、顧客へのアピール力向上の知財・無形資産戦略を策定して事業化。国内で初めて軽さと柔らかさを兼ね備えた「らくらくアルミケーブル®」は、特長である柔らかいケーブルの技術を特許網で独占するとともに、周辺機材を含めた知財権ミックス戦略で技術ブランディングを図り、高いシェアを維持。



社長による知財スローガンの設定



リスクミニマムから
チャンスマキシマムまで
IPランドスケープを活用



インフラレーザ® システムイメージ



らくらくアルミケーブルシステム®